令和８年度　登米市立南方中学校　学校経営グランドデザイン

関係法規，県・市の基本方針 →

【学校教育目標】
自主：自ら進んで学ぶ生徒
寛容：思いやりのある生徒
活力：健康でたくましい生徒

～ふるさとを愛し、未来を切り拓く心豊かでたくましい生徒の育成～

← 社会の願い　生徒の実態　地域の特性

【学校経営の方針】

⑴ 生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる「より分かる授業づくり」の推進のため、教員の授業力向上を目指して校内研究を充実させる。
⑵ 自他の生命を大切にするとともに、豊かな人間性を育む教育活動を推進する。
⑶ 基本的生活習慣の定着、継続的な体力づくり、食育の推進に取り組む。

【目指す生徒像】

自ら進んで学ぶ生徒	思いやりのある生徒	健康でたくましい生徒
・自ら見出した課題に興味・関心を持ち、粘り強く取り組む生徒 ・ＩＣＴや資料を活用し、学び合い等で考えを深めていく生徒 ・将来の目標達成のために学ぶ生徒	・心のこもった挨拶ができる生徒 ・気配りや感謝のできる生徒 ・互いを価値ある存在として尊重し合う生徒	・健康や安全に配慮し、けじめのある生活を送る生徒 ・進んで身体を鍛え、心身ともに健康な生徒 ・基本的生活習慣を確立し、生き生きと活動する生徒

【目指す学校像】

「生徒・教師の笑顔が輝く学校」
⑴ 心安らぐ居場所となる学校
⑵ 互いを尊重し、高め合い、成長できる学校
⑶ 安全・安心な学校

【目指す教師像】

「最大の教育環境は教師である」
⑴ 主体的・対話的で深い学びを創造する教師
⑵ 生徒の声を聞き、生徒の成長を見守る、心の通い合う教師
⑶ 心身ともに健康で、共に汗を流す教師

【学校教育目標を達成するための重点施策】

知　確かな学力の定着

生徒の深い学びにつながる授業づくりと、「分かった！」「できた！」の実感を目指した授業実践を進める。

① 個別最適な学び、協働的な学びの確立
・諸検査や定期テスト、観察等により生徒の実態を把握・分析し、互いに学ぶ場の設定、個別指導を行う。
② 子供の学びを支援する５つの提言、登米市学習スタンダード、南方中学習スタンダードを活用した授業実践
③ 幼・小・中と連携した適切なメディア活用と家庭学習の充実
タブレットの有効活用
・メディアウィークの取組（小中）
④ 言語活動の充実
・ＮＩＥ教育、読書活動への取組
新聞と本を積極的に読む活動
・各教科、領域の振り返りにおいて、レポート作成や論述の実施により、知識・技能の活用と思考力・判断力・表現力の育成を図る。

徳　豊かな心の育成

「特別の教科　道徳」を軸に、自己を見つめ、多面的・多角的な視点から考え、人間としての生き方についての考えを深めさせる。
＜重点項目＞
〇希望と勇気、克己と強い意志
〇思いやり、感謝
〇命の尊さ
① あいさつ運動の推進
② 命を大切にする教育の推進
・防災教育の推進、避難訓練の実施
・「特別の教科　道徳」を中心に、短学活を含めた教育活動での啓発
③ 生きる力を育む「志教育」の推進
・集団宿泊活動、職場体験活動、職業人等の講話、生命の尊さを感じる体験、ボランティア活動、福祉施設への訪問等
④ 一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援、合理的配慮の推進
⑤ 望ましいメディア利用のための情報モラルの指導
・保護者・地域、そして、警察や企業と連携し、充実した指導を行う。

体　健康・体力の維持向上

基本的生活習慣の定着と生涯体育の基礎づくりに取り組む。

① 基本的生活習慣の確立
・感染症予防の徹底と健康に対する意識の高揚を図る。
・南方中学校区の幼・小及び家庭、地域と連携し、規則正しい生活習慣を確立させる。
・交通安全の誓いを守らせる。
② 継続的な体力づくり
・保健体育、部活動を通し、家庭や地域でも運動する習慣づくりを行う。
・部活動等において外部指導者と積極的に連携し、体力の向上を図る。
③ 食育の推進
・食生活において自己管理能力の育成を目指し、学校給食や関連する教科等で指導を行う。
・健康な食生活の実現のため、肥満傾向、食物アレルギーや疾病治療等の指導や個別相談活動を充実させる。
・減塩指導（ナトカリ）

地域社会との協働による学校づくり（コミュニティ・スクールの推進）

① 南方地区学校運営協議会の充実及び活性化
② 地区内の小学校，幼稚園、地域事務所との緊密な連携
③ 地域ボランティアを活用した学校教育活動への支援
④ 行政・幼稚園・小学校・地域と連携した防災学習の推進